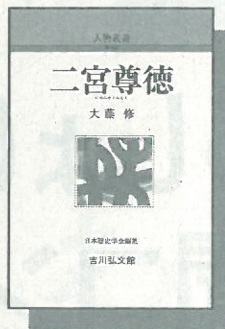


Tea Break ティーブレイク

本 & etc

人物叢書 二宮尊徳



農業関係者で二宮尊徳を知らないという人はほとんどいない。しかし尊徳の一生や業績、思想についてトータルで理解している人は少ない。

本書は二宮尊徳を勉強する上での教科書といえる。1787年に現在の神奈川県の農家に生まれたところから1856年に没するまで、さらに、死してなお生き続ける尊徳の偉業と思想について時代を追って丁寧に解説する。

大藤修／著

経営学、哲学、教育学の学者であるとともに実践者である。人間尊徳を信頼できる資料を基に、写真を多用し、客観性を重んじながら魅力ある人物像を浮き彫りにする。本文の上に小見出しが載っており必要などころを何度も読み返す時に便利だ。尊徳が生きたのは変革の時であった。今改めて尊徳に学ぶものは多い。

New 自伐型林業のすすめ

中嶋健造／編・著

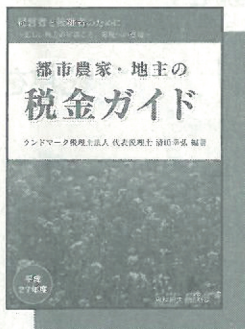


近年の林業体系は、生産性・生産量のみを重視し、良い木から収穫を進めた結果、価値のない木ばかりが残る荒れた森林が目立つ。

「New 自伐型林業」とは、山林所有の有無や所有規模にかかわらず、森林の経営や管理、施業を山林所有者やグループ、地域自らが行う自立・自営型の林業であり、限られた森林が所在する地域で暮らし、その森林を永続管理することで持続的に収入を得ていく手法だ。

本書はカラー口絵、「序」「実践編」「支援編」「技術編」からなる。「実践編」と「支援編」では個人、地域、集落などで取り組んでいるさまざまな自伐型林業の実践や方法、自治体による支援例を取り上げている。「技術編」では自らのレベルに合わせて、コストを掛けずに材を搬出するための道具や技術などを紹介する。

都市農家・地主の 税金ガイド 平成27年度



平成27年から、相続税は、バブル期の地価高騰に伴い引き上げられたままであった基礎控除額が引き下げられ、税率も累進課税の一部分が引き上げられた。

一方、贈与税は、若年層への財産移転を促進するための適用要件の緩和や、制度の新設など現役世代へ早期に財産を移転することについて後押しする方向性が示された。

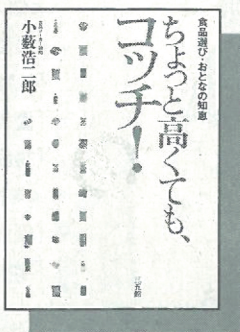
正しい税金の知識は節税への近道となる。著者は農家の長男として生まれ、現在、農林中金、JA全農かながわ、JA横浜などで顧問税理士を務める傍ら、JAの連合会や各JAなどで多数の講演も行う。自らも農業者である視点から、都市部の農家や地主のために、一経営改善と節税、事業承継」に関わるさまざまな税金とその周辺知識

清田幸弘／編・著

をQ&A方式で分かりやすく解説する。

本年度税制の主要な改正ポイントも掲載され、対応策検討のための資料として十分活用できる一冊だ。

小藪浩二郎／著



食品会社は無添加のものを実際に作れるのか、どうすれば無添加の食品を手でできるのか、商品を見抜くためにはどこに目をつけたらよいか。

本書は「これを買ってほしい」という、お薦めの商品を紹介し

8、9月に信州岩波講座 テーマは『戦後70年』からの出発 岩波書店など

岩波書店や長野県須坂市、信濃毎日新聞社などで構成する信州岩波講座実行委員会は、8、9月に「第17回信州岩波講座2015」を開く。



同講座は、文字を学び、文字に親しみ活用することで、人間らしい豊かな情操や想像力を育むことを目的に1999年から開講。活字文化の活性化や地域社会に根差す取り組みとして、毎年さまざまなテーマを設けている。

今年のテーマは「未来へ人間らしく『戦後70年』からの出発」。

日程と講師は、8月9日が澤地久枝氏（ノンフィクション作家）、29日が上野千鶴子氏（社会学者）と金子勝氏（慶應義塾大学教授）、9月12日が山田太一氏（脚本家・小説家）。

会場は須坂市メセナホール。開講時間は午後1時30分。参加費は▷1講座＝前売券1000円、当日券1200円、学生500円（高校生以下無料）。▷3講座＝2500円（前売券のみ）。

問い合わせ・申し込みは同会事務局、(電)026(245)1800。

PR

企画・制作／日本農業新聞 広報局